

156 はくさんじんじゃ 白山神社 こじゅ イチイの古樹



指 定 市天然記念物 昭和45年10月1日
所在地 常 和
所有者 白 山 神 社



植物分類上は、イチイ科イチイ属に属するイチイの雄株で、周囲は目通り6.12m、高さ約18m、枝張り範囲17~18mにおよび、まれにみる大木で、樹齢は約1000年といわれている。

古記録によれば寛文13年（1673）ころには、すでに白山神社の御神木として崇められていた。

この御神木は昔から、いぼ神様・むし歯神様といわれ、いぼができたとき、そのいぼを小石でこすり、このイチイの洞の中へ投げ入れれば治るとか、むし歯の痛むとき小石で痛むところをこすって、洞の中へ投げ入れれば痛みは癒えると伝えられている。

さらに伝説によれば、「ある年の暮れ、歳神様が村中へ年を配って歩いたが、その年が10ばかり余ってしまったので、この木の洞の中へ投げ込んで去った。ところが元旦のこと、第1番に白山神社へ参詣した人に洞の中の10の年が授けられ、その人が急に年寄りになったため、洞の中へ小石を投げ入れて年を返すといたら、若くなった。」と伝えられている。洞の中には今でも小石がたくさん投げこまれている。